

	課題分析	授業改善策	改善状況
国語	<p>【文章読解】 ○読解練習が量的に不足しており、読むことそのものに時間がかかりすぎている。</p> <p>【基礎的な言語知識】 ○語彙が少なく、漢字にも苦手意識をもっている生徒が多い。</p>	<p>【文章読解力】 ○接続する言葉や指示語の特徴を理解させ、スピーディで的確な読解ができるように指導する。</p> <p>【基礎的な言語知識】 ○辞書の使い方を学ぶ他、漢字ワークの定期的な提出・チェックを通して生徒の基礎的な言語知識の向上を図る。</p>	
社会	<p>【関心・意欲・態度】 ○指示を聞いて、教科書や地図帳の該当ページを開くことに取り組めない生徒や、学習内容に興味をもてない生徒がいる。</p> <p>【知識・技能】 ○基礎的な知識が身に付いている生徒は多いが、背景にある社会的事象に結び付けて理解できている生徒が少ない。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 ○必要な情報を文中から見付けたり、グラフを読み取ったりしたことを、自分の言葉や文章で表現することが苦手な生徒がいる。</p>	<p>【関心・意欲・態度】 ○ページ数は板書し、視覚的に示す。また机間巡視での声掛けや隣の生徒同士確認させて、作業を促す。視覚的な教材を活用し、興味をもたせる。本時の学習に見通しをしっかりとたせる。</p> <p>【知識・理解】 ○発問やワークシートを工夫し、学習した内容を振り返りやすいものにする。</p> <p>【思考・判断・表現】 ○話合いや意見交換等、仲間の考えに触れ、自分の考えを深める活動を行う。資料を多く活用し、資料を読み取る機会を多く用意する。短い文章でまとめる場面を多く設定する。</p>	
数学	<p>【計算力】 ○計算の理解度やスピードの差が大きい。分数等の計算に苦手意識のある生徒がいる。</p> <p>【文章表現力】 ○自分が理解した内容を文章にして説明することを苦手とする生徒が多い。</p>	<p>【基礎計算力の向上】 ○計算練習の時間をしっかり確保する、章ごとに確認テストやレポートを実施する等、繰り返し学習内容を振り返ることで、理解を定着させる。「速く、正確に」を目標に、時間を意識して取り組ませる。</p> <p>【話合い活動の充実】 ○毎時間の学び合い活動を通して、人に説明する力・人の話を聞く力を付けていく。必要に応じて図や表を活用できるよう、授業の中で情報を提示していく。</p>	
理科	<p>【科学的思考】 ○身の回りの事象について、科学的に探求しようとする力が育っていない生徒がいる。</p> <p>【理解】 ○習ったことは理解できるが、発展的な内容になると理解できない生徒が見られる。</p>	<p>【科学的思考】 ○授業で使用するワークシートや視聴覚教材等のICTを工夫し、興味関心をもって取り組めるような質問や課題を用意する。</p> <p>【理解】 ○授業で使用するワークシートに発展的な内容を問う課題を付けて、理解力を補充する手だてを行う。</p>	

	<p>【基礎的事項】 ○持続的な知識の定着が不足している生徒がいる。</p> <p>【文章的表现力】 ○学習してわかったことを文章にまとめてみることができない生徒がいる。</p>	<p>【基礎的事項】 ○授業の初めに小テストなどを行う。テストに過去の学習内容を取り込む等の手だてを行う。</p> <p>【文章的表现力】 ○授業の終わりや單元ごとの終わりの授業に、自分が学んだことをまとめる時間を設ける。 ○自由研究等のレポートを課題として与え、まとめる力を身に付けさせる。</p>	
音楽	<p>【興味・関心】 ○生徒の興味・関心を高める工夫が必要である。</p> <p>【創意工夫】 ○基礎的な表現の技能や知識を身に付け、創意工夫をして表現する能力を育て、音楽表現するための技能を身に付けさせる必要がある。</p> <p>【達成感】 ○自己評価を工夫して達成感を味わう必要がある。 ○学校行事との関連を図りながら、達成感をもたせる工夫が必要である。</p>	<p>【鑑賞の能力】 ○多様な音楽のよさや美しさを味わい、幅広く主体的に鑑賞する能力を育てる。</p> <p>【教材選択】 ○音楽に対するイメージをもち、創意工夫して表現できる教材を精選する。</p> <p>【自己評価】 ○自己評価を行い、授業への取組を確認するとともに自分の実力をしっかりと把握し、向上心を育てる。</p>	
美術	<p>【関心・意欲・態度】 ○自己評価が甘いため、生徒自身で自分の作品の改善点を見付け、作品の質を高めさせる必要がある。 ○落ち着いて授業に取り組めるが、準備や片付けの時間も授業だという認識が薄い。 ○長い時間、集中して制作に取り組めるよう工夫する必要がある。</p> <p>【発想や構想力】 ○目に見えないものを想像し、描写する力を高める必要がある。</p> <p>【創造的な技能】 ○ものを観察し、形、陰影を描き出す写実力を高める必要がある。 ○混色の仕方やムラのない丁寧な平塗りを習得する必要がある。</p>	<p>【制作意欲を持続するために】 ○生徒の良いところを認め、より良い作品にするために適切なアドバイスを行う。 ○見通しをもって計画的に作品製作ができるようにするため、製作シートで毎時の振り返りや次回の目標を設定させる。 ○準備や片付けにおける注意事項を事前に明確に伝えた上で指導を行う。 ○作品鑑賞会で互いの良い点を発見させる。 ○身近な生活の中に美術が活かされていることを認識できる時間を設ける。</p> <p>【発想力を高めるために】 ○参考作品を提示し、制作意欲を高める。苦手意識のある生徒へ個別指導を行う。 ○達成感が味わえる教材作りをする。</p> <p>【創造的な技能をつけるために】 ○短時間デッサンタイムを習慣化し、各生徒の成長が分かるように、日付と目標を記録する。 ○三原色を活用した色つなぎや平塗りの基礎練習を行う時間を設ける。</p>	

保健体育	<p>【健康安全に留意した授業】</p> <p>○『授業規律』をしっかりと守り、落ち着いて安全に授業に取り組む姿勢を身に付けさせることが必要である。</p> <p>【個に応じた指導】</p> <p>○生徒の能力差を考慮し、個の課題に応じた指導の工夫が必要である。</p> <p>【自主的課題解決】</p> <p>○自ら課題を設定し、自主的に課題解決に取り組む力を育む指導が必要である。</p>	<p>【健康安全な授業】</p> <p>○準備運動、補強運動を丁寧に行い、授業の説明や注意点を落ち着いた態度で聞かせ、理解させる。</p> <p>【段階的な指導の工夫】</p> <p>○授業のねらいを明確にし、見通しをもたせ、スモールステップで技能練習を繰り返す。また、単元によっては ICT 機器を取り入れ視聴覚教材を有効に活用する。</p> <p>【課題発見活動】</p> <p>○授業の振り返りを『個人記録カード』に記入させ、点検しアドバイスをする。また、単元によっては ICT 機器などを有効に活用する。</p> <p>○グループやペア学習を取り入れ、お互いに意見を出し合って、課題解決のヒントに気付く活動を取り入れる。</p>	
技術	<p>技術分野</p> <p>【興味・関心】</p> <p>○「身の回りの生活とものづくり」に関して、小学校での学習との関連性をもたせ、関心意欲を高める必要がある。</p> <p>【工夫創造】</p> <p>○基礎的・基本的な知識の定着を図る必要がある。その知識をもとに、新しい発想を生み出そうとする姿勢を育む必要がある。</p> <p>【技能】</p> <p>○ものづくりに必要な技能の習得に向けて、製作実習を通して学ぶ必要がある。</p>	<p>技術分野</p> <p>【授業のねらい・目標の把握】</p> <p>○題材ごとの評価内容・方法を明確に提示し、授業のねらい・目標を理解させる。実生活との結び付きを意識させ、指導を行う。</p> <p>【教材選択】</p> <p>○実生活に身近な教材を選択し、製作実習において、一つの作品を時間内に終わらせることのできる教材を選択し、作品を完成させた達成感を味わわせる。</p> <p>【学習の定着】</p> <p>○製作実習時の技能試験、題材終了時に確認テストを実施する。</p>	
家庭	<p>家庭分野</p> <p>【健康的な食生活への関心】</p> <p>○提出物や年度当初アンケートの内容から、健康的な食生活に対する関心や知識が足りないと思われる。生徒一人一人が、健康的な食生活を送ることの良さを理解し、自身の食生活に関心をもてるよう工夫することが必要である。</p> <p>【基本的な調理技術の習得】</p> <p>○今年度の1年生は昨年度から調理実習を行っておらず、基本的な調理技術を習得できていないと考えられる。</p>	<p>家庭分野</p> <p>【実生活に即した実践的な授業】</p> <p>○各小単元において、生徒一人一人が自身の食生活を振り返ったり、より良い食生活についてグループで話し合ったりする活動を充実させ、健康的な食生活への関心を高める。</p> <p>【基本的な調理技術の習得のための授業】</p> <p>○感染状況に応じて、感染症対策を徹底しながら、調理実習を行う。</p> <p>○調理実習を行えない期間においても、視聴覚教材の活用や調理工程のシミュレーションワーク等を通して、基本的な調理技術に関わる知識の定着を図る。</p>	

英語	<p>【思考・判断・表現】</p> <p>○書くことに苦手意識がある生徒が各クラスに一定数いる。自己表現やコミュニケーションが難しい生徒への工夫が必要である。</p> <p>【知識・技能】</p> <p>○知識や技能を問う問題の点数が低いので、生徒が自信をもって取り組めるように指導する必要がある。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>○自習ノートを提出できる生徒とできない生徒がいる。</p>	<p>【思考・判断・表現】</p> <p>○chrome bookを活用することで自己表現の仕方を文字だけでなく、パワーポイント等の視覚的な表現をさせることで改善を図る。</p> <p>【知識・技能】</p> <p>○単語テストを毎週行う。同じ問題も繰り返し出題することで点数を挽回する機会を与える。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>○自習ノートを授業中に活用する時間を少しずつ設けて、提出できない生徒を少しでも減らすよう心がけて授業を改善する。</p>	
----	--	--	--